



ペレニアルライグラスの新しい品種が 続々発売予定です。

主に放牧草地に使われるペレニアルライグラスですが、近年、新品種の育成や海外からの導入が進んで、北海道優良品種に認められた品種・系統がこれから市販されます。草地更新がなかなか進まない現状ですが、ペレニアルライグラスは既存草地に導入することが比較的容易な草種ですので、草地のパワーアップの一手法として、ペレニアルライグラスの利用を考えてみてはいかがでしょうか。

これまでのペレニアルライグラス市販品種

登録年次	品種名	特徴	育成者
昭和53年	フレンド	晩生	雪印種苗
平成11年	ポコロ	晩生	天北農試
平成20年	チニタ	中生	上川農試天北支場

上記に示したのが、北海道優良品種となり、現在市販されている品種です。現在の酪農試験場天北支場の前身である天北農試および上川農試天北支場がペレニアルライグラス育種を終了して以来、なかなか新しいペレニアルライグラスの品種は北海道優良品種に登録されることはありませんでした。

市販が予定されている品種・系統の紹介

登録年次	品種・系統名	特徴	育成・導入者
令和3年	ルフレ	晩生	雪印種苗他
令和6年	SW Birger	晩生	ホクレン
〃	道東3号	晩生	種子協会他

令和3年に北海道優良品種に登録された「ルフレ」は雪印種苗と酪農試験場（旧根釧農試）が育成した品種です。セールスポイントとしては、越冬性が既存品種「ポコロ」よりも、「越冬性」が優れることです。ここで言う「越冬性」とは早春に同時

期に見たときに萌芽している部分が多いことを意味し、草地が早く利用できることとなります。年間の収量は既存品種「ポコロ」と同程度でした。種子の供給は令和7年度から開始予定です。

令和6年に北海道優良品種に登録された「SW Birger」はホクレン農業協同組合連合会がスウェーデンから導入した品種です。セールスポイントとしては、兼用利用で既存品種「ポコロ」より収量が多いことがあります。ちなみに放牧での年間の収量は同程度でした。種子の供給は令和7年度から開始予定です。

上記と同じく、令和6年に北海道優良品種に登録された「道東3号（市販時は別の品種名を付与）」は一般社団法人日本畜産種子協会、農研機構北海道農業研究センターおよび東北農業研究センター、家畜改良センター十勝牧場が共同で育成した品種です。セールスポイントは、放牧における収量が既存品種「ポコロ」より多いことです。特に夏以降の収量が多かったです。種子の供給は令和10年以降となる予定です。

今回紹介した品種・系統の特性を表に示しました。

	品種・系統名		
	ルフレ	SW Birger	道東3号
越冬性	○	—	△
収量性（放牧）	—	—	○
収量性（兼用）	—	○	△

○：既存品種「ポコロ」より優れる

△：既存品種「ポコロ」よりやや優れる

—：既存品種「ポコロ」と同程度

ペレニアルライグラスの導入方法の紹介

ペレニアルライグラスは完全更新により導入することが理想ですが、経費等で難しい状況にあります。そこで、ペレニアルライグラスをより簡易に導入する方法について、簡単に紹介します。

ペレニアルライグラスを放牧草地に導入するには、牧草追播機（代表的な機種として、シードマチック）を用いた方法が一般的です。

作業時期は早春の入牧前および既存植生の草勢が落ち着いた夏（7月～8月中旬）が適しています。土壌肥料的には石灰の散布を検討していただくとともに、播種した牧草のため、リン酸の施用をお願いします。作業後はいつもの放牧をしていただければ、早春の施工であれば、秋には草地にペレニアルライグラスが定着している姿を見ることができます。夏の施工では作業当年に効果は実感できないかもしれませんが、翌年の春にはペレニアルライグラスの定着を見



「道東3号（系統名）」

既存品種「ポコロ」

ることができると思われます。

ペレニアルライグラス導入の効果は秋の草量の増加に現れます。

播種時期として、冬の初めもありますが、近年の暖冬傾向により、リスクが高くなっています。

兼用地についても、上記の方法で導入できますが、放牧地に比べると、効果を実感するまでには時間を要する傾向にあります。

採草地については、基本的にはグリホサート系除草剤を用いて、既存植生を枯死させ、各種機械を用いた播種作業を行うこととなります。これは、採草利用条件では既存植生が存在する状況では他の牧草よりも定着しやすいペレニアルライグラスをもってしても、導入は難しいことを意味しています。

詳細については、酪農試験場のホームページ上にある「簡易更新マニュアル」を見ると場合分けの上、どの方法が適しているのか選択することができるようになっていきますので、ご利用ください。

また、既存植生を枯死させることは、飼料生産の計画に影響を及ぼすことにならざるを得ません。

おわりに

今回紹介したペレニアルライグラス新品種はそれぞれに特徴を持っており、現状の草地を改良することが可能と考えます。放牧地や兼用地のみならず、採草地にも導入をご検討いただければ幸いです。